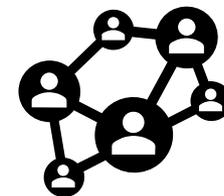


# 里山広葉樹利活用推進プラットフォームで実施したいこと

里山広葉樹利活用推進プラットフォームでは、以下のことに取り組みます。

## 情報を収集・共有します

需要側の情報(樹種、製品に必要な規格・品質等)と、供給側の情報(伐採予定の情報、樹種別の量、価格等)をとりまとめ、これらの情報を相互に共有します。



## 交流を促進します

広葉樹の供給側と需要側の交流できる場を創出するとともに、ビジネスマッチングや広葉樹利活用に不可欠な人材育成を促進します。



## 利活用の意義を発信します

里山広葉樹の利活用に取り組むことの意義を消費者向けに発信するとともに、広葉樹林の管理や利用による環境への影響などを評価できる手法の検討を行い、その手法を対外的に発信できるようにします。



## 広葉樹に関する人材育成・技術開発に取り組みます

広葉樹の伐採や加工に関する専門人材の育成、資源把握や施業技術の開発などに取り組みます。



# 里山広葉樹利活用推進プラットフォームが出来ること

## 情報の収集・共有

- ・ 家具メーカーなどの需要者側が求めているニーズ(樹種別、用途別の広葉樹活用ニーズ、求められる品質等)を取りまとめるとともに、供給者側が提供できる情報(樹種別、地域別の資源情報、伐採予定時期、販売量や価格イメージなどの市況情報等)を収集・蓄積し、これら蓄積した情報の共有を行います。
- ・ また、同じように各地で里山広葉樹の利活用に取り組む人々の事例を集め、取り組み内容の共有を行います。



### 里山広葉樹を活用したい方は

全国規模での調査結果や素材生産者・加工事業者からのヒアリング情報を基に、求める樹種・品質・規格の里山広葉樹材の情報をプラットフォームから入手可能になります。



### 里山広葉樹を伐採・管理している方は

求められる樹種・品質(径級、材長)の情報を基に、管理している里山広葉樹材が持つ付加価値を最大化することが可能になります



#### 供給側の情報

- ・ 樹種
- ・ 品質(生産可能サイズ)
- ・ 資源量
- ・ 生産可能時期 等



PFで  
収集・共有



#### 需要側の情報

- ・ 用途
- ・ 樹種
- ・ 品質(サイズ、曲がり、含水率)
- ・ 年間使用量 等

※ 情報の提供もプラットフォーム会員事業者だけに限定するなど事業者の皆様の不利になる情報の提供は致しません。

## 交流の促進

- ・ プラットフォームに参画いただける事業者様同士の交流を促進するため必要な、同じ考えを持つ事業者、異なる地域で活動する事業者など様々な交流を促進します。
- ・ 先進事例地の活動を紹介するセミナー等を開催するとともに、会員相互が協力して活動できる体制を構築して参ります。



### 全国ベースのネットワークが構築できます

里山広葉樹利活用に取り組む協業者とのネットワークが構築するとともに、相乗効果の創出により新たなビジネスの構築のお手伝いをします。



### 利活用スキルが向上します

セミナーの受講等を通じて、広葉樹人材の育成を実施します。

## 重要性の発信

- ・ 林野庁のSNS等での発信により、里山広葉樹利活用の重要性を全国的に発信するとともに、それに取り組む皆様の情報を、消費者等へ伝えるサポートを行います。
- ・ 管理、利用による環境への影響などを評価できる手法の検討を行い、その手法を対外的に発信できるようにします。



### 様々なニーズにアクセスできるようになります

消費者ニーズの底上げと、プラットフォームに取り組む皆様の活動がより効果的に受け入れられるようになり、これまでとは違うニーズが獲得できるようになります。



### CSRなど、対外的に環境影響効果を説明できるようになります

里山広葉樹の利活用による生物多様性の保全や、二酸化炭素貯留など様々な環境に対する影響を見える化し、対外的にも活動の効果を証明・説明できるようになります。

## 広葉樹に関する人材育成・技術開発

- ・ 需要を踏まえた丸太の採材や、製材時の乾燥や加工技術など、広葉樹ならではの技術の継承・人材の育成に取り組みます。
- ・ 広葉樹のモデル林の紹介・発信や、確実な更新を前提とした広葉樹施業・モニタリングの推進に向け、川上分野の施業技術の交流を行います。



### 地域の広葉樹の価値を高めます

消費者ニーズを踏まえたもっとも価値の高い採材や加工を行うことで、地域の広葉樹の価値を最大化できます。



### 広葉樹を持続可能な形で循環利用できます

不確実性のある広葉樹施業について、川上側の技術交流やモニタリングを行うことで、将来にわたって持続的な形で循環利用することが可能になります。

# プラットフォームの構築に向けた令和7年度の取組

- 林野庁広葉樹チームでは、プラットフォームの構築に向けて、令和7年度以下の取組を展開しています。

## 取組1 広葉樹サプライチェーンの課題・ニーズの把握

広葉樹の生産や利活用に関わっている様々な事業者さまのところに出向き、現状の悩みやニーズなどをお伺いしています。

## 取組2 全国シンポジウムの開催と広葉樹資源量の把握・公表

令和8年2月24日 広葉樹利活用の第一線で活躍されている方からの事例紹介とパネルディスカッションを開催し、プラットフォームの設立に向けた機運を高めます。  
(於TKP市ヶ谷カンファレンスセンター)  
その際、全国的な広葉樹資源量の状況(樹種別・地域別)及び25年間の変化などを分析・公表します。

## 取組3 プラットフォーム設立に向けた発起人会の開催準備

プラットフォームの活動の具体的内容を詳細に詰めるとともに、設立の核になっていただく企業様に発起人の呼びかけを行っています。

<発起人として想定している分野の例>

☆利 用 : 楽器、家具、スポーツ用品、薪炭、チップ・おが粉 など

☆流通加工: 市場、製材 など

☆川 上 : 森林組合、素材生産事業体 など